

研究種別	成長戦略研究	
研究課題名	暑熱時における母豚の繁殖改善技術の開発	
研究期間	令和元年度 ~ 令和3年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.0
[コメント] 気候変動に対応した暑熱ストレスの緩和策として、抗酸化資材であるアスタキサンチンと、ファインバブル水について調査した結果である。 残念ながらアスタキサンチン投与では、母豚や子豚の離乳頭数に明確な差が見られなかった。一方で、ファインバブル水の給与においては、母豚の飼料摂取量が若干低下したにもかかわらず、生体内の栄養指標は対照区と差はなく、かつ子豚の成育にも影響が見られなかった。このことから、ファインバブル水は暑熱環境下での母豚の飼料効率の向上に資すると考えられ、かつ繁殖性への負の影響もなかった。  以上のことから、ファインバブル水は暑熱対策として有効であることが示唆された。今後、例数を重ねて再現性を確認すること期待します。		

研究種別	一般研究	
研究課題名	気候変動等に対応した牧草サイレージ調整技術の開発	
研究期間	令和元年度 ~ 令和3年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.0
[コメント] 気候変動により降雨が多く、牧草の予乾が十分できない状態でも良質なサイレージ調製を可能にするための技術開発である。 本課題では、高水分・中水分のサイレージ調製に乳酸菌製剤を添加することで、1番草から3番草まで、ウシに給与可能な良質なサイレージ調製が可能であることを示した。特に、牧草の栄養価の低い2番草、3番草でも良質なサイレージ調製が可能であり、通年で安定的な自給飼料供給が可能であることを示した意義は大きい。  今後、県内の酪農家への普及が期待されるが、センター内での試験を継続し成績を積み上げながら、酪農家への情報提供に努めて欲しい。		